

企画セッション「星空教室／星空案内／星空ガイドツアー、大研究」

柴田晋平、佐藤理絵
(NPO 法人小さな天文学者の会)

私たちにとって実際の夜空での観察指導法は「かなめ」のスキルです。全国で活躍する星空案内人が一同に会し、星空案内の方法を大研究しようという企画です。

当日は、あいにくの曇となり、もっとも苦しい曇メニューでの案内となりました。星空案内人（プレゼンテーター）からは針のむしろに座らされたと言われて企画スタッフは冷汗ものでしたが、案内人の腕前はそれを乗り越えるすばらしいもので、聞くものを感動の渦に巻き込んだのでした。

当日案内をしてくださったのは、以下の豪華メンバーです：（順不同）

矢治健太郎さん(立教大学、理数教育 CBLIS)
塚田健さん(東京学芸大学)
堀井敬之さん(小さな天文学者の会)
坂元誠さん(西はりま天文台)
有本淳一さん(京都市立塔南高校・黄華堂(*))
臼田(佐藤)功美子さん(ハワイ観測所(スバル望遠鏡))
浜野和弘巳さん(浜野和天文台)
稲村陽子さん(小さな天文学者の会)

実際に行ってみると、星空や宇宙を題材に教育がいかにさまざまな個性的な方法で展開できるかがわかる感動的なイベントになりました。聞き手になった参加者は皆、案内人から幸せをいただいたことと思います。

参加者からの投票により、「見(魅)せるソムリエ賞」に臼田(佐藤)功美子さん、「聴かせるソムリエ賞」に堀井敬之さんが選ばれました。

ライブの星空案内、大道芸のような星空案内、学校などへの出前授業、病院やさまざまなタイプの施設への出前などいろいろな場面で活躍する星空案内人の交換会が2年に一度くらいでいいので行えると思います。

つまり、これらの活動は結構、個人や小さなグループでおこなわれていてノウハウの交換があまり頻繁でないのが改善できるとよいな、と思うのです。

現在、徐々に広まっている星空案内人資格認定制度がもし成熟したときは個性豊かな星空案内が日本の津々浦々に展開されるようになるでしょう。そんな星空案内人も参加できると嬉しいです。

<企画セッション風景から>

